

シート固定資材

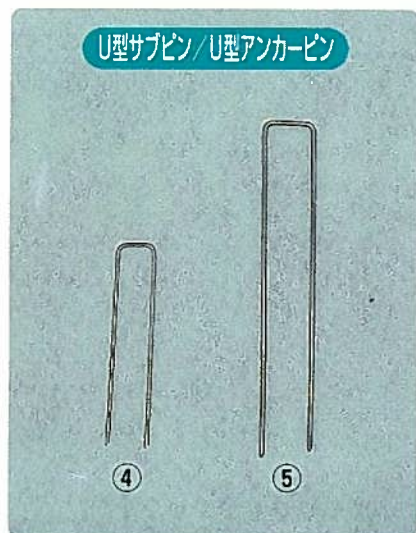
シート止めピン



L型アンカーピン

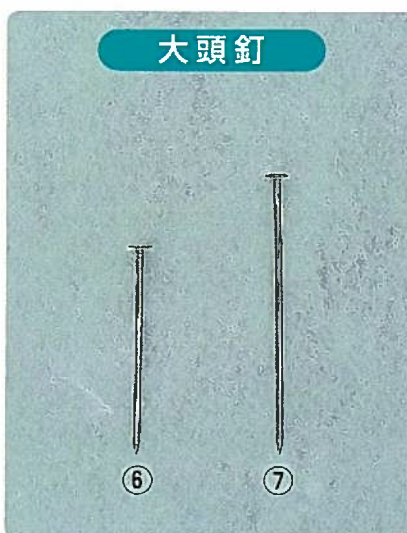
- ① $\phi 9 \times L200$
- ② $\phi 9 \times L250$
- ③ $\phi 9 \times L300$

※L 350mm以上のピンは、受注生産になりますので、お早めにご相談下さい。



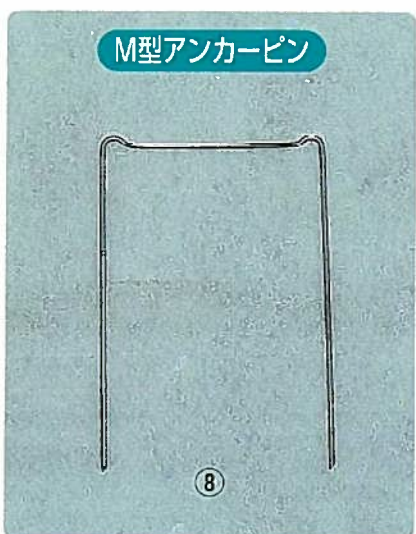
U型サブピン/U型アンカーピン

- ④ $\phi 3 \times L150 \times W30\text{mm}$
- ⑤ $\phi 4 \times L250 \times W40\text{mm}$



大頭釘

- ⑥ $\phi 5 \times L150$
- ⑦ $\phi 5 \times L200$



M型アンカーピン

- ⑧ $\phi 4 \times L250 \times W150\text{mm}$



プラ座金

- 色 : 緑・黒色
- サイズ : $\phi 80\text{mm}$

※現場状況、用途に合わせてピンの径や長さを変更してください。

シート固定補強資材

ハリケーンネット



特 徴

止めピンをみの点固定に、ネットをプラス。防草シートを面で押さえます。
また、ネットを押さえるピンは、抜けにくいネジ型を採用。
台風の時など、強風の入り込みによる防草シートの“捲れ”と“破れ”を防止します。

施工方法

①ハリケーンネット設置

- ハリケーンネットを防草シート上に置き、シート端部から約5cm外側にずらして設置する（断面図）。
- U型アンカーピン（ $\phi 4 \times 250\text{mm}$ ）を補助で両端2mピッチで打設（平面図）。
- ネジ型アンカーをハリケーンネットの中心部に2mピッチで打設（平面図）。
- ハリケーンネットを縛ってある番線（針金）を使用して、ネジ型アンカーとハリケーンネットを結束する。
※裏面の施工図を参照下さい。

②補修

- ネジ型アンカーやU型アンカーピンを打設した際、防草シートへ破損が生じた場合は粘着テープまたは、シーリング材“アタッチ”で補修する。

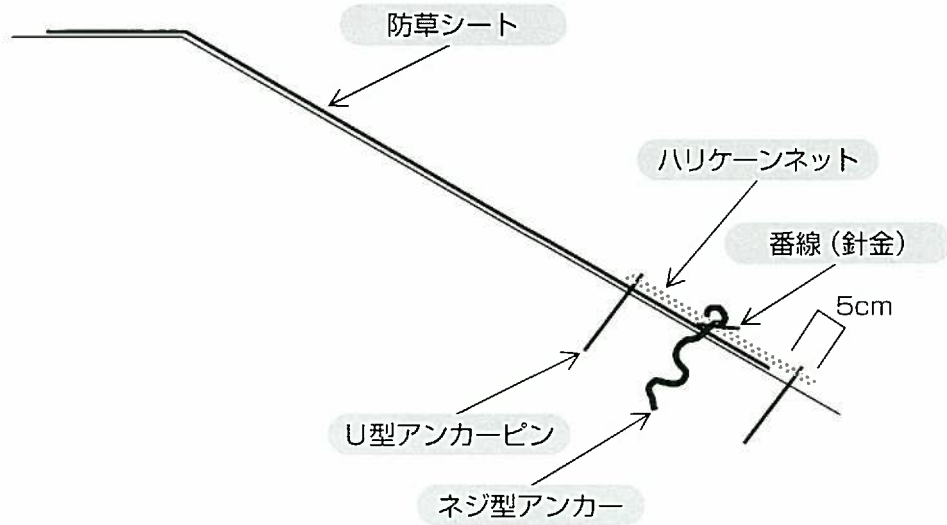
参考歩掛

品 名	規 格	数 量	100m当たり 工 数
ハリケーンネット	W=455mm L=15m	6.7巻	0.8人
ネジ型アンカー	D10 L=300mm	50本	
U型アンカーピン	$\phi 4\text{mm}$ L=250mm	100本	

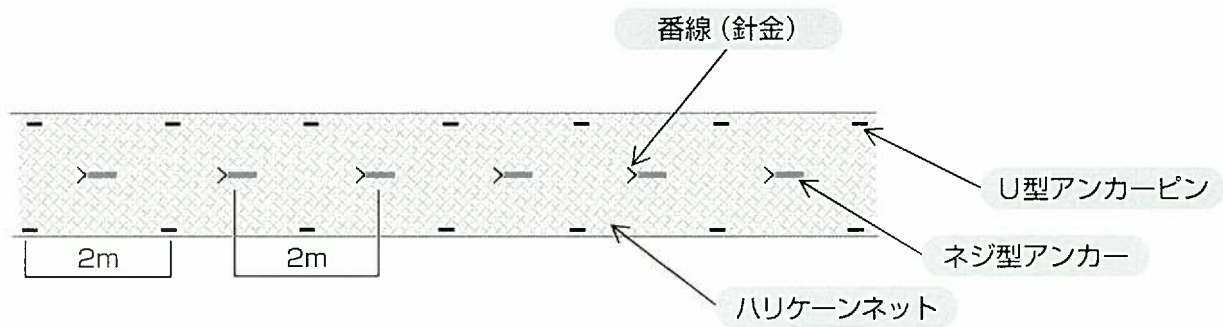
※U型アンカーピン（ $\phi 4 \times 250\text{mm}$ ）の形状は、止めピンカタログを参照下さい。

ハリケーンネット施工図

断面図



平面図



特許申請中

ガードレール支柱際からの雑草防止

株式会社白崎コーポレーション

グリーンナップ事業部

TEL (0778) 62-2800 FAX (0778) 62-3336

URL <http://www.shirasaki.co.jp>

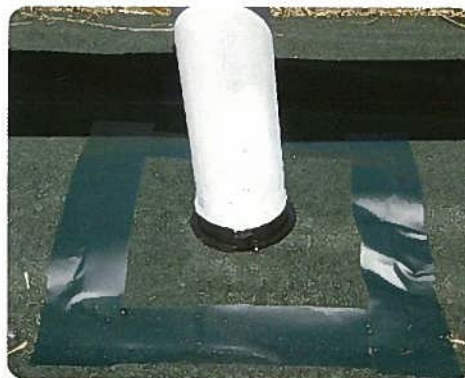
ガードレール支柱カバー



雑草の繁茂によりガードレールが見えない!



防草シートを張っても支柱際の間隙から強壯雑草が突き抜けてくる!



シート縫製タイプ
φ60.9、114、140
も承っております。

施工方法

ガードレール支柱カバーの設置

支柱部分にガードレール支柱カバーを取り付け、付属のシートを粘着テープで固定する。

ガードレール支柱と支柱カバー上面との境界部分にアタッチを塗布する。

商 品



ガードレール支柱カバー
二枚一組で使用



粘着テープ

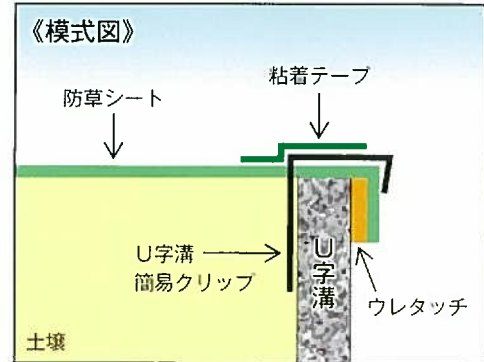
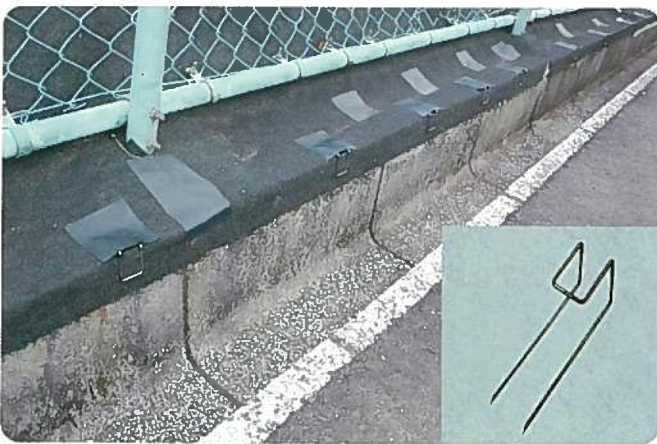


アタッチ

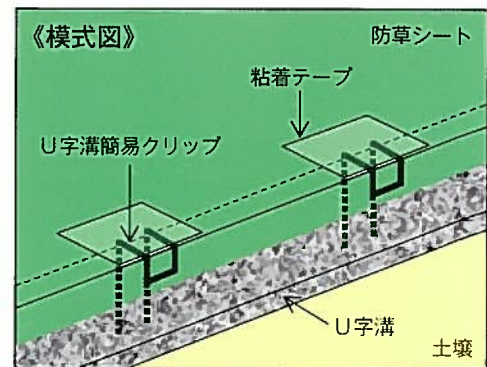
参考歩掛

品 名	規 格	数 量	工数(100箇所当り)
ガードレール支柱カバー	φ114mm×400mm×400mm	100セット	2.5人
粘着テープ	W=0.1×50m (2.3m/基)	4.6巻	
アタッチ	333ml	5.3本	

U字溝簡易クリップ



シートの端部をU字溝に巻き込み、
U字溝簡易クリップを取り付ける。



特 徴

U字溝の際にシートを敷設する際、シートの端部をU字溝に巻き込んでU字溝簡易クリップで固定することで、光侵入による雑草発生、風侵入によるシート捲れを防止します。

施工方法

- ①シート敷設の際、U字溝にシートを6~8cm程度被せて折り曲げて接着。
※接着には、接着剤マニュアルを参照し、ウレタッチまたはアタッチを選択。
- ②U字溝の仕様によってクリップの仕様を選択し、U字溝と地面の境目に50cm間隔で打設。
- ③クリップを打ち込んだ穴からの雑草を防止するためにピンシールを貼る。

商 品

規 格：180型（幅3.5cm / 4.0cm兼用）、300型（幅4.5cm / 5.0cm兼用）
出荷単位：100本/箱

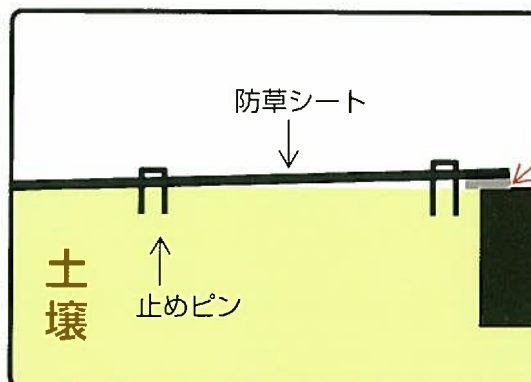
参考歩掛

品 名	規 格	数 量	工数(100m当り)
U字溝簡易クリップ	180型用：φ4.0×160×W40×50	200本	0.5人
	300型用：φ4.0×150×W50×50		

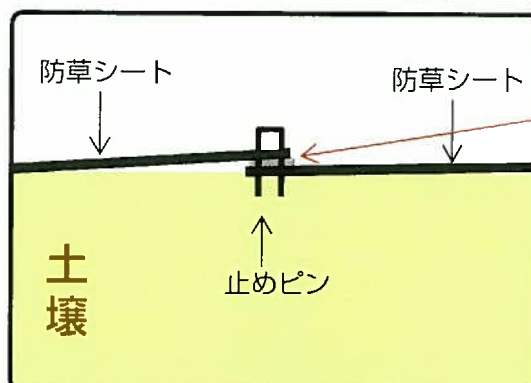
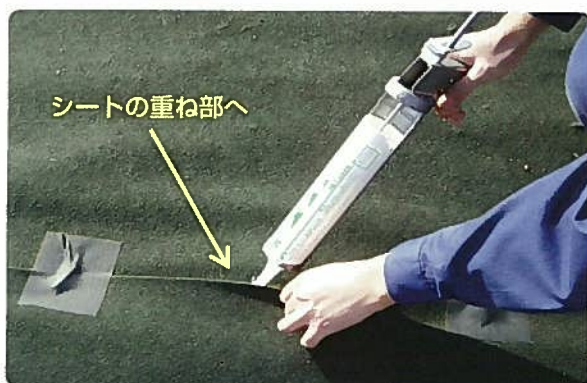
シート際からの雑草防止

防草シートシーリング材

アタッチ



シート敷設後、シートと構造物の隙間をアタッチで接着する。



シート敷設後、シートの重ね部をアタッチで接着する。

<施工断面図>

特長

無酢酸型で臭いがほとんどありません。伸び、接着性、耐久性、耐水性に優れています。

役割

シートと構造物などの隙間あるいは、シート重ね部を“アタッチ”で接着することで、光侵入による雑草発生・風侵入によるシート捲れを防止します。

施工方法

- ①シート敷設後、シート際の埃・砂等を取り除いてください。砂埃が付着している場合、接着不良になります。
- ②シート際をシーリング材“アタッチ”でシーリングし、圧着して下さい。
- ③雨天時などシートが濡れている場合は、接着不良になります。乾いてからご使用下さい。
- ④コンクリートやアスファルト構造物の劣化が進んでいる場合は、数量を割増して下さい。
 (シーリングは、剥離する可能性がある為最後の工程とし、作業後はシートの上を歩かないようにして下さい。)

商品

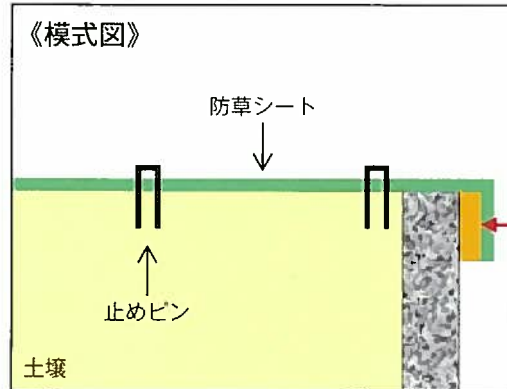
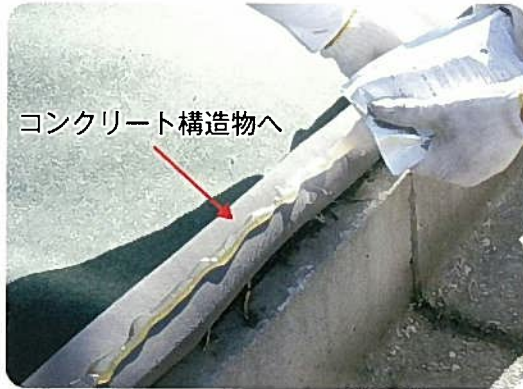
カラー：クリア 容量：333ml

参考歩掛

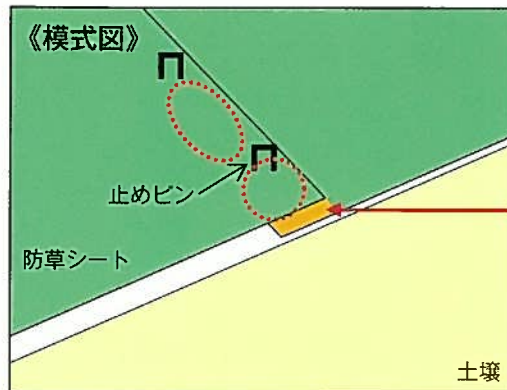
工法	出シ口	塗布重量	使用目安	工数(10m当り)
シーリング工	φ7.7mm	49g/m	7m/本	0.02人

ハードタイプシートの際処理
防草シート専用接着剤

ウレタッチ



反発力の強いシートの場合でも
コンクリート等に巻き込んでの
接着が可能。



シートの重ね部をウレタッチで
接着する。

特 徴

初期接着性（タック）があり、接着力が強いので、巻き癖がついて反り返るシートの接着や硬めのシートの立ち面の接着に適しています。

役 割

シートとコンクリート構造物などの隙間や、シート重ね部を接着することで、光侵入による雑草発生、風侵入によるシート捲れを防止します。

施工方法

- ①シート敷設後、シート際の砂埃を除去して下さい。砂埃が付着している場合、接着不良になります。また、雨天時などシートが濡れている場合も接着不良になります。乾いてからご使用下さい。
- ②シート際に“ウレタッチ”を塗布し、接着剤が薄く伸びるように面状に押し広げて下さい。その後、シートと被着体を離します。
- ③溶剤を揮発させるために、静置して下さい（接着剤を半乾きの状態にします）。
溶剤が揮発しにくい状態で静置する場合、下記の待ち時間より約10分延長して下さい。
■待ち時間（目安）……夏季：約10分 冬季：約20分
- ④シートを均等に圧着します。シートの浮きが見られた場合、再度しばらく静置させた後、改めて圧着して下さい。

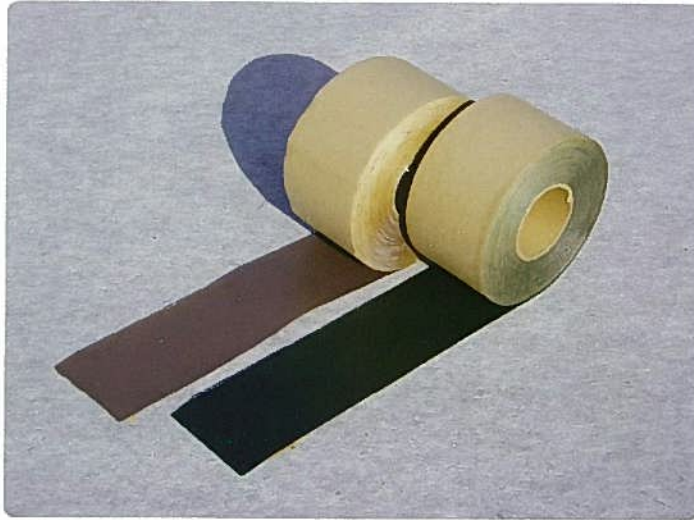
商 品

カラー：黄褐色 容量：500ml

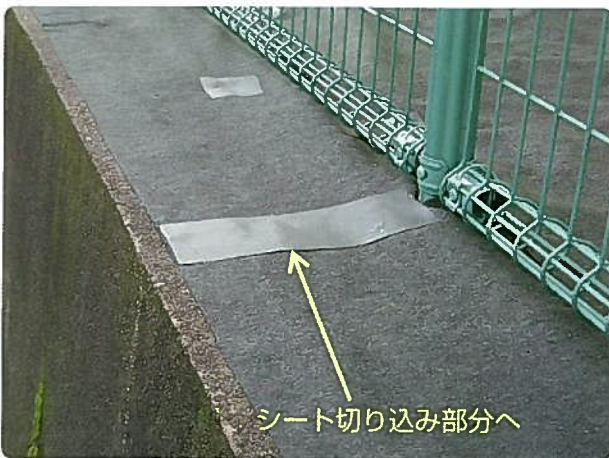
参考歩掛

工 法	出し口	使用目安	塗布重量	工数 (10m当り)
シーリング工	φ7mm	15m/本	34g/m	0.02人

ピン穴からの雑草防止 粘着テープ



ハサミでカットしてご使用下さい



カットタイプ

スリットタイプ



ピン穴防草用に10cm×10cmセットも承っております。別途ご相談下さい。

用途

ピン穴からの雑草防止

ピン打設位置へ粘着テープを貼り付け、ピン穴からの雑草発生を防止します。

シート切り込み部分からの雑草防止

シート切り込み部分に貼り付け、隙間からの雑草発生を防止します。

シート捲れ防止

風によるシートのおおりにおいて、ピンの抜けを防止します。

シートの重ね部に貼り付け、光侵入による雑草発生や風の入り込みによるシート捲れを防止します。

施工方法

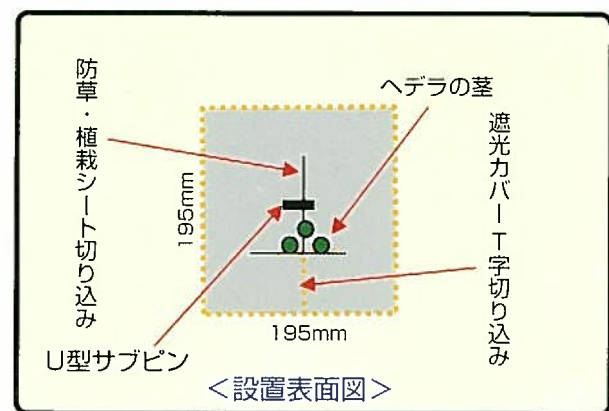
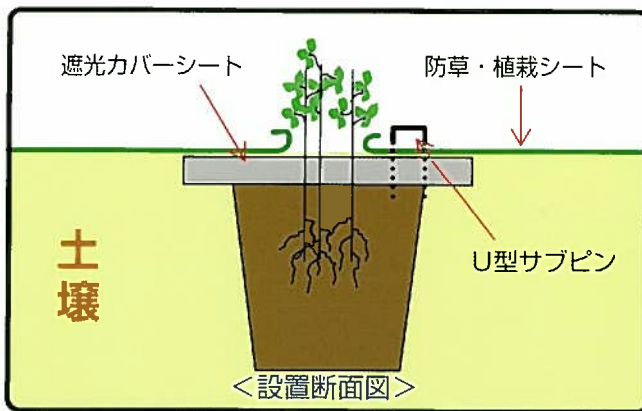
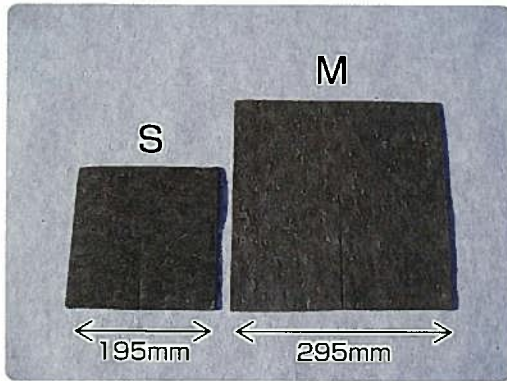
- ①シート上の埃、砂等を取り除いて下さい。砂埃が付着している場合、接着不良になります。
- ②粘着テープをカットし、貼り付けた後しっかり圧着して下さい。
- ③雨天時などシートが濡れている場合は、接着不良になります。乾いてからご使用下さい。
- ④不陸面へ使用される場合は、テープが浮きあがらないようシートに沿ってテープを貼り付けて下さい。

商品

規格：10cm（幅）×50m（長さ）、□10cm×10cm 500枚（カットタイプ・スリットタイプ）
カラー：グリーン、ブラウン

植え穴からの雑草防止

遮光カバーシート



植栽後の植え穴部にカバーシートを1枚挿入し、防草・植栽シートを被せU型サブピンで止める。

防草・植栽シートの切り込み部と遮光カバー切り込み部の位置をずらして設置下さい。

※植え穴遮光カバーは、図のように防草・植栽シートの下へ挿入して下さい。

特長

1.優れた雑草抑止効果

遮光率が99.5%以上で光合成を阻止し、植え穴からの雑草発生を抑止します。

2.植物生育に配慮

植物に必要な透水性、通気性を備えており、さらに蒸発防止・保温効果で生育を助長します。

3.柔らかい素材

ポリエステル+レーヨンの不織布で適度な強度と伸縮性を備えている為、植物の生育を阻害しません。

4.リサイクル素材

一部リサイクル素材を使用しており、環境に優しい製品です。

品番	規格	用途	参考歩掛
SK-195S	195×195mm	地被植物(9cm、10.5cmポット苗)	0.003人/1枚
SK-295M	295×295mm	低・中木(根鉢径20cm以下、コンテナ径12,15,18cmポット苗)	0.004人/1枚

VA菌根菌(ギガスポラ属)入り微生物緑化資材

客土パック VA-200

国土交通省新技術情報提供システム
"NETIS登録番号: CB-020014-A"

～セントラル硝子株式会社との共同研究により客土パックが誕生～

VA菌根菌は、植物の根に共生し養水分の供給や土粒子の団粒化など様々な力を発揮します。

VA菌根菌入り配合土壌



防草シート敷設後植え穴にVA-200を入れ植栽



部分客土による切土法面緑化



シバザクラ 1年5ヶ月後



菌根菌の菌糸と植物根



VA菌根菌模式図

特長

灌水対策

植物に共生したVA菌根菌が菌糸を伸ばし、根の届かない範囲からも水分を集め、植物に供給。

低コスト化

全面土壌改良から部分客土へ、工法を変えることでコストダウン。土壌改良が困難な法面でも適用可能。

耐病性の向上

植物の生育に必要なミネラルイオンの吸収促進。植物が健全に育ち、耐病性が向上。

植栽・移植

VA菌根菌の共生効果で、植物の活着率が向上。地被植物の植栽や樹木の移植等に最適。

【特 長】

- 本品は高活性VA菌根菌（ギガスポラ属）を含む植生土壌です。
- VA菌根菌は、植物の根張りを改善し、活着を促進します。
- VA菌根菌の菌糸は、広範囲の土中より水分を集めるので、乾燥・高温などの環境ストレスに効果があります。また、植物に必要な養分・ミネラルを吸収するので、肥料の節約になります。
- VA菌根菌の菌糸は、土壌粒子を結び付け、団粒構造を形成するため、土壌の流亡防止・飛砂防止に効果があります。
- 防草シートと併用する場合は、植栽部分のみ局所的に土壌改良するので、コスト削減になります。
- 吹付の場合は、根張の促進、枯死率の減少等の効果により、早期緑化が実現できます。

【使用方法】

●部分客土

植穴にVA-200を適量入れて植栽します。このとき、根鉢全体にVA-200が触れるようにして下さい。

●施用量

木草本類・つる性類

コンテナ径(cm)	9	10.5	12	15
施用量(ℓ)	0.2	0.3	0.4	0.6

中低木

樹高(cm)	30未満	30~50	50~80	80~100	100~150	150~200	200~250	250~300
施用量(ℓ)	0.6	0.8	1.0	1.4	2.0	3.1	4.4	6.2

高木

幹周(cm)	10未満	10~15	15~20	20~25	25~30	30~35	35~45	45~60	60~75	75~90
施用量(ℓ)	1.5	2.2	4.2	6.6	9.6	11	18.8	30.8	47.6	67.4


●吹付

生育基盤材にVA-200を配合し、吹付を行って下さい。

●施用量

植生基盤材吹付	生育基盤材1㎡あたり、50ℓ(2袋)使用。
客土吹付	生育基盤材1㎡あたり、50ℓ(2袋)使用。

お問い合わせ先

 株式会社 **白崎コーポレーション**

■グリーンナップ事業部 / 〒916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23
TEL: 0778-62-2800 FAX: 0778-62-3336

■営業所 / 埼玉・大阪・福岡・仙台・秋田・山形・新潟・群馬・山梨・和歌山・広島・熊本
URL <http://www.shirasaki.co.jp> ※注文受付窓口 / FAX: 0778-62-3336

製造元 **セントラル硝子株式会社**

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 (興和一橋ビル)